

こだわりとノウハウから生まれる本物の機能美

ジョイクラフトはボート本体の品質だけでなく、トータルでの使いやすさにこだわっています。だからこそ、装備に関してもオリジナリティが光っています。これまでの経験に基づき、必要なものだけを取り入れ、構成された一つひとつのパーツはどれもがスムーズ。見た瞬間に魅了され、そして実際に使ってみて惚れ込んでいただけるはずです。本物の機能美を、ぜひ体感してください。

統一された美しいデザイン

アルミオール (アルマイト加工)

アルミニウムで手が黒く汚れないグリップキャップ付き。長く(130~165cm)、大きなブレード。軽くて早く進みます。オールロックと統一された美しいデザインです。



オールロック

品位と質感を求めるジョイクラフトのこだわりです。オールとのマッチングは絶妙。美しい艇体には美しい部品が必要です。



オールストッパー(クルーズミニ・ローボートはベルクロ式)

オールをワンタッチで確実に固定するオールストッパーを装備。ひも式やゴムひも式に比べ、非常にスマートです。また、クルーズミニやローボートにはベルクロ式のオールストッパーを装備。水上でも楽に着け外しの作業ができます。



リフティングハンドル

大型のクリーン兼用ハンドルが、全てのボートに装備。ボートを引き起こすことなく、持ち上げて運べます。アンカロープの止め具としても使用できます。

※オレンジベコ・スモールトランサムはベルト式です。



フィッシングロッドホルダー(多目的台座)

座面が高く、竿掛けがしっかり固定出来ます。中央がくびれており、クリーンとして使用できます。汎用性が高く各社の商品が装着可能です。

ジョイクラフトのボートはチューブが非常に固いので竿掛け取り付け時に特別な補助用具を必要としません。

※JET、RIB及び3.8m以上のボートは除く



リフティングハンドル(パウ・スターン)

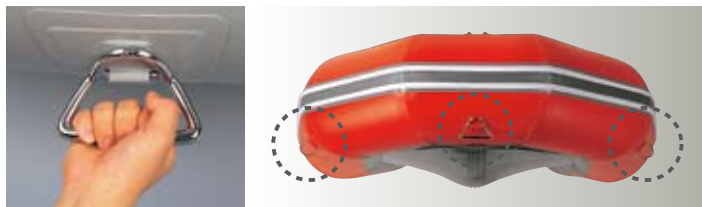
パウ部分に2個のリフティングハンドルを装備。ランチングホイール使用時、両手で移動する際に非常に便利です。またスターン部分には外側にリフティングハンドル、内側にグリップを装備。内側のグリップはボートを運ぶ際、ランチングホイールをセットしやすいように計算されています。

※オレンジベコ・スモールトランサムはベルト式です。



トローイングリング(一部3点式)

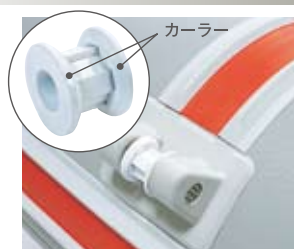
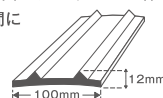
ボートの曳航時に使用。プレミアムラインにはふらつき防止の3点トローイングが装備されています。



アンカローラー/ロープリーダー

ローラーが確実に回転するアンカローラーを装備。溝の高さ10mm、溝の幅40mmの本格的なロープリーダーと相まって、アンカーをスムーズに軽く引き上げることが可能です。また、ローラーは側面のカーラーと一体成型のため、細いロープでも隙間に食い込む心配はありません。

※BBSは除く



ベルト式ライフライン(ベルト式つかみ索)

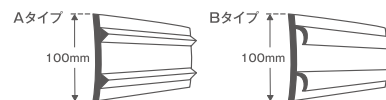
細いロープ式に比べ、デザインもスマート。定員以上の数のベルトが装備されているため、ガッチリと体をホールドすることができ、荒天時などハードなドライブをする時でも安全です。長時間握っていても、手が痛くなりません。ロープに比べ、釣り糸が引っかかることもありません。



防眩材

全てのスポーツボートに幅100mmのデザイン的にもアトラクティブな大型防眩材を装備。

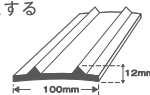
※スモールトランサムは除く。



トリムタブ/チューブプロテクター

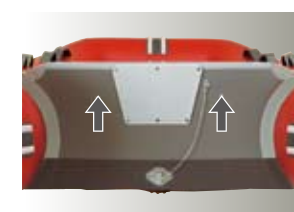
ボート下部プロテクターに高さ12mmのストライプを取り付け、ボートの直進性の向上、ターンする時の横すべり防止に大きな効果を発揮します。また、ボート前部を持ち上げたり動かししたりする時に、最もダメージを受けるチューブ裏側の摩擦を防止する役割も果たします。(2001年導入。現在では各社がコピーしています。)

※JET、スモールトランサムは除く。



トランサム

ボートにとって重要な役割を果たすトランサム。ジョイクラフトでは最大のもので巾86cm(JEF425)、最小のもので巾25cm(GRID295/265)、厚さは18mm~36mmのものをご用意。ボート本体の使用目的やサイズなどにあわせてベストなものをセレクトしています。また、エンジン落下を防ぐ「アルミニウムパッド」(スモールトランサムシリーズはプラスチック)やジャンプ時など衝撃を受けた際のエンジンのずり上がりや滑落を防ぐ「プラスチック成型板」も装備。安全性を高めるために上部の角を保護材で覆ったり、本体との取り付け部を成型部品で補強したり、細部にまで磨き上げ、機能性を向上しています。さらにランチングホイールを簡単に取り付けられるようランチングホイール取り付け穴も標準で開けています。



平面バルブ

チューブより出っ張らず、フラットです。身体を傷つけることがありません。また、空気注入時専用アダプターとの組み合わせで空気弁が自動的に全開し空気の注入抵抗が殆どありません。ジョイクラフトのバルブはプッシュ式で手の平を傷つけることがありません。
※一部キャップのデザインが異なるものがございます。



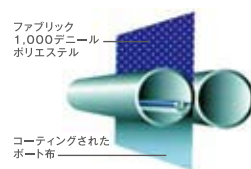
ライセンスプレート固定用アイレット

ライセンスプレートは、ひらひらして、煩わしいもの、プレートをしっかり固定します。
※オレンジベコ、スモールトランサムは除く。



■高圧スプレー方式

ジョイクラフトはベース布のポリエステルとコーティング部に剥離がない「高圧スプレー方式」を採用。表と裏のコーティング材が布目を通じ接続(ブリッジ)し、はがれません。



■走るボートのチェックポイント

ボートにとって重要なことは、安全でスムーズに速く走ることができることです。キャビテーション、左右の揺れ、パウの沈み込み、エンジン周辺の水流の乱れなど、ボートの急激な挙動変化は危険でもあり、特に長時間の運転では疲れます。ジョイクラフトのボートは、スムーズな走り方で安心感があり、精神的にも肉体的にも優しいボートです。

1. 基本設計

●ボートの継ぎ目を少なくすることで、スムーズなラインを確保し、水の流体抵抗を少なくしています。



縦方向に継ぎ目のない美しいボート

●インフレーターボートは左右の安定性は抜群です。転覆することはまずありません。しかし、前後方向は風の影響を受け易い。風圧抵抗を最小にする為、船首部に向け細くテーパーさせています。視覚的にもとてもスマートです。

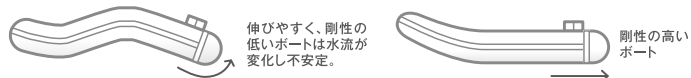
●トランサム、エンジン周辺の水流の変化を少なくし、船体の流れや、水圧の影響を減少させる設計を行っています。特にトランサムの設計は、1つの方式にこだわることなく、試行錯誤を重ね、その機種にマッチしたものを開発しました。

2. ボートの剛性

ボートの走行性では、いかに硬い艇体を作れるかがキーポイント。強く伸びない繊維、大きなチューブ、高い空気圧が一体となって剛性の高い艇体を作り上げます。

●ジョイクラフトは海上でのテストをくり返し、最適なチューブ径を採用しています。伸びの少ないボート布と大きなチューブで、ガッチリとした剛性の艇体を作り上げます。

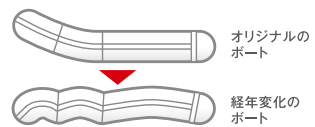
●ジョイクラフトのボートのチューブ空気圧の目安は、ローボート・スポーツボート共に200~250ヘクトパスカル(hpa)です。太く、強く、伸びない繊維を使用しているため、高圧に耐え、チューブが堅くなります。剛性の高い艇体は、風波による水面の変化により飛んだり跳ねたりせず、キャビテーションも少なくスムーズに走ります。



伸びやすく、剛性の低いボートは水流が変化し不安定。

剛性の高いボート

●伸びの大きい布を使用しているボートは、経年変化でパウが下方に落ちてきます。ジョイクラフトのボートは伸びの少ないボート布を使用しています。



オリジナルのボート

経年変化のボート

ジョイクラフトがインフレーターボートの世界を変えた!!

電動ポンプ・高圧フットポンプが標準装備

※スポーツボートのみ(スモールトランサムシリーズは除く)

超高圧電動ポンプ(BST-12HP/BTP-12)

スポーツボートの性能を最大限引き出すため、全スポーツボートに標準装備。最大圧力800hpa~1000hpa。高低圧切り替え式で高圧エアフロアにも余裕で対応します。必要圧力を事前に設定し、オートストップします。一度お使いになれば手放せません。



プレミアムライン、フリード、オレンジベコに標準装備

25,000円 (送料750円)

※仕様、装備は変更になることがあります。

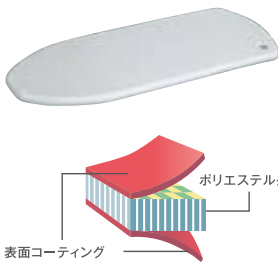
■DC12V ■重量2kg

優れた技術に裏打ちされた確かな構造

安全性と耐久性が求められるインフレーターボートだから素材の選択から製造の工程まで厳しい姿勢で取り組んでいます。改良に改良を重ねた抜群の品質がここにあります。

■リジッドフレックス(高圧エアフロア)

ジョイクラフトは、高圧エアフロア高級ボートを提供しています。リジッドフレックスは、縦糸・上面・下面のクロス全てに、低伸度ポリエステルを採用。数ミリ間隔で無数の糸が上下の布を引っ張る構造は、空気を注入するだけで板のように硬くなり、継ぎ目もなく曲がらず、ガッチリした高い剛性のフロアを作ります。さらに、大きな浮力がもう1つの安全性を付与します。軽くて組み立ても簡単です。一度この簡便さを経験すると手放せなくなります。ジョイクラフトは、船体と船底構造のベストな組み合わせの開発にチャレンジし、提案しています。プレミアムラインは硬いスーパーリジッドフレックスを採用し、比類の無い性能を発揮します。

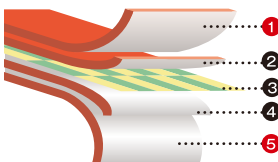


ポリエステル糸 表面コーティング

■ボート用クロス

■ボートクロス基布

ボート布は引き裂きに強く、伸びず、硬いチューブを作れることが重要。走りの高性能につながります。ジョイクラフトは、全てのボートに、太く、強く、伸びにくい1,000デニールポリエステルを採用。さらに、1,000デニールポリエステルの両面に、ボート専用設計されたコンパウンドをコーティングしています。



- ① 高重合ポリマー層
- ② 接着層
- ③ 合成繊維
- ④ 接着層
- ⑤ 高重合ポリマー層

■全てのボートが同品質

ジョイクラフトのコンパウンド「高重合ポリマー」は、耐候性に優れ、紫外線、オゾンに対し抜群の耐久性を示す可塑剤(プラスチックサイザー)を使用しています。最高級のスポーツボートからローボート、フローターまで、全く同じコンパウンドを使用。最良の品質を全てのボートに採用しています。

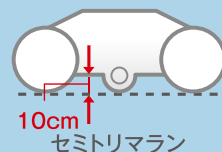
■表面、裏面に同一配合材をコーティング

夏の強い日差しでは、紫外線がチューブの裏側まで達することがあります。さらに、オゾンは暗い所でも空気中に存在し、見えないチューブ裏側が劣化することもあります。チューブ裏側の配合品質は重要です。ジョイクラフトのコーティングは、チューブ裏側の劣化にも対応する、自信の1回コーティング。コーティング材は、ピンホールの原因になる粉状物を配合しておらず、表面・裏面たった1回のコーティングでも、ピンホールができてにくい構造です。

トランサム形状別の特長の説明

●セミトリマラン

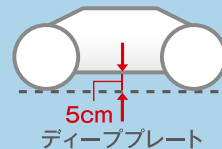
ボート前側から入り込んだ空気が、ボートの下を通り抜ける際に圧縮。その圧縮の力でボート本体を上を持ち上げます。空気揚力を利用した、高速艇です!



10cm セミトリマラン

●ディーププレート

底面が高い位置にあるため、水圧のほとんどをチューブで支えます。これにより、水圧による底面の形状変化がなく、水流を安定させることができます。底面の下を安定してスムーズに水が流れることで、トランサム後部からのスプレーの上がりも少なくなります。



5cm ディーププレート

●ウイングデルタ

ボート底面の形状が水圧によりゆがむと、トランサム両サイドが壁になり水流に抵抗が生じます。水流をスムーズにするV型形状で、素直な走りを実現しました。



ウイングデルタ

船体中央部は全てディープV型です。

